

SAFTY DATA SHEET

August 5, 2022

1. 会社情報

製品名	OSHIROX 超低汚染シリカコート(OXC-Si)
会社名	株式会社 OSHIROX
住所	〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋 4-1-55
部署	研究開発部
電話 / FAX 番号	06-6690-7372 / 06-6690-7373

2. 危険有害性

物理的・化学的危険性:	引火性液体;	区分3
健康に対する有害性:	急性毒性	経口; 分類できない
		経皮; 分類できない
		吸入; 分類できない
		吸入; ガス; 分類できない
		吸入; 蒸気; 分類できない
		吸入; 粉塵、ミスト; 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性;	分類できない
	重篤な眼の損傷/刺激性;	区分2
	呼吸器感作性;	分類できない
	皮膚感作性;	分類できない
	生殖細胞変異原性;	分類できない
	発がん性;	分類できない
	生殖毒性;	分類できない
	特定標的臓器 / 全身毒性 - 単回;	区分2(中枢神経系・全身毒性)
		区分3(気道刺激性、麻痺作用)
	特定標的臓器 / 全身毒性 - 反復;	区分1(肝臓)
		区分2(血液系、中枢神経系)
	吸引性呼吸器有害性;	区分外
環境に対する有害性:	水生環境有害性: 急性;	区分外
	慢性;	区分外
	オゾン層への影響;	区分外

危険有害性絵表示:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- ・引火性液体及び蒸気
- ・強い眼刺激
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ水生生物に毒性

- ・臓器の障害のおそれ(単回ばく露)
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き:

安全対策:

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・仕様前に取扱説明書を入手してください。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。
- ・容器を密閉しておいてください。
- ・容器を設置/アースをとってください。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- ・火花を発生させない工具を使用してください。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- ・取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。

応急処置:

- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
- ・口をすすいでください。
- ・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- ・皮膚又は髪についた場合、直ちに、汚染された衣服をすべて脱いでください。皮膚を洗水かシャワーで洗ってください。
- ・吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。
- ・眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受けてください。
- ・火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。

保管:

- ・施錠して保管してください。
- ・換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・塗料等の缶の積み重ねは三段までとしてください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。

廃棄:

- ・内容物/容器を、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響をおよぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物業者に処理を依頼してください。

3. 組成 / 成分情報

単一化合物・混合物の区分:混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.
エチルアルコール	35~40%	64-17-5
イソプロピルアルコール	1~5%	67-63-0

4. 応急処置

吸入した場合: 蒸気・ガスを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。

嘔吐物は飲み込ませないようにする。

直ちに医師の手当てを受けること。

蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類や靴は速やかに脱ぐ。直ちに付着又は接触部を大量に流水で十分に洗い落とす。

外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

眼に付着した場合: 直ちに清浄な流水で15分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

まぶたの裏側まで完全に洗うこと。

直ちに医師の診断を受けること。

誤飲した場合: 誤って飲み込んだ場合には、安静に上体を起こして大量の水(可能であれば生理食塩水)を飲ませて、直ちに医師の診断を受けること。ただし、気を失っている場合には、無理に飲ませない。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護: 適切な保護具(保護眼鏡、防護マスク、手袋など)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の処置

使用可能な消火剤: 特に規定された消火剤はない

6. 漏出時の処置

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・ 回収後の漏出場所は注水して希釈した後、消石灰、ソーダ灰等の水溶液を中和し処置する。ガスが発生する場合は、霧状の水をかけて吸収させる。
- ・ 風下の人を避難させる。
- ・ 風下で作業しない。
- ・ 河川等へ排出され、環境への影響をおこさないように注意する。
- ・ 漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をすること。
- ・ スコップ、ウェス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水の洗浄なども、河川等へ排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取り扱いおよび保管

取り扱い:

- ・ 換気のよい場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。
- ・ 皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らないよう、また、吸入しないように、適切な保護具を着用する。
- ・ 取扱後は手・顔などをよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- ・ 取扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを充分に行う。
- ・ 取扱中にアルカリとの接触を避ける。
- ・ 缶の取手は手下げ用であり、ロープ等で吊り下げることがしないこと。

保管:

- ・ 直射日光を避け、換気のよい場所に一定の管理のできる場所を定め、施錠して保管する。
- ・ 本品は業務専用品(業務用)であり、部外者や子供が出入りしない場所に保管する。
- ・ 凍結の恐れのある場所での保管はしないこと。
- ・ 雨のかかる場所や湿気の多い所での保管は避けること。缶が腐食すると内容物が漏れ出すことがある。

8. 暴露防止措置 / 保護措置

管理濃度 / 許容濃度 (職業的暴露限界値、生物学的限界値)

成分名	管理濃度	許容濃度
エチルアルコール	-	1000ppm
イソプロピルアルコール	200ppm	200ppm

設備対策: 屋内作業の場合には、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの曝露を避けられるような設備にすること。

タンク内部などの密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気出来る装置を取り付けること。

作業者が直接触れたり、暴露されない設備とするか、局所排気装置等により、作業者が蒸気、ミストなどの曝露から避けられるような節目にする

作業場所には、便利なところにシャワー及び洗顔設備を設けておく。

呼吸器の保護具: 作業を行う場合には、ミストなどの吸入を防ぐ適切な保護マスクを着用する。

防毒マスク(酸性ガス用)を着用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具: 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具: 取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護: 取扱う場所には、皮膚を直接曝させないような衣服を着けること。または化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的・化学的性質

外観: 無色透明の液体

臭い: アルコール臭

pH: 3.8

融点、凝固点: 情報なし

沸点、初留点と沸騰範囲: 78.3~100.0°C

引火点: 25.3°C

爆発限界 (n air, vol.): 2.5%~12%

蒸気圧: 5333Pa

蒸気密度: 情報なし

比重 (相対密度): 0.912 (20°C)

溶解性: 情報なし

オクタノール/水分係数: 情報なし

分解温度: 情報なし

10. 安定性および反応性

安定性: 標準的条件での危険な反応はしない

回避事項: 情報なし

混触危険物質: アルカリ、アミン

有害性分解物: 情報なし

その他の危険性情報: 情報なし

11. 毒性情報

有害性情報

急性毒性

エチルアルコール

LD50(経皮)	: 20000mg/kg
LD50(吸入・蒸気)	: 63000ppm/1H
LD50(吸入・粉塵、ミスト)	: —
LD50(経口)	: 6200mg/kg

イソプロピルアルコール

LD50(経皮)	: 12870mg/kg
LD50(吸入・蒸気)	: 27908ppm/1H
LD50(吸入・粉塵、ミスト)	: —
LD50(経口)	: 4384mg/kg

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性

エチルアルコール	: 区分2B
イソプロピルアルコール	: 区分2

生殖毒性

エチルアルコール	: 区分A
イソプロピルアルコール	: 区分3

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

エチルアルコール	: 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
イソプロピルアルコール	: 区分1(中枢神経系、全身毒性)、区分3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

エチルアルコール	: 区分1(肝臓)、区分2(中枢神経系)
イソプロピルアルコール	: 区分1(血液系)、区分2(呼吸器、肝臓、すい臓)

12. 環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生体毒性:	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

13. 廃棄上の注意

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機械装置などを洗浄した排水は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・ 環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をすること。

14. 輸送情報

輸送機や輸送手段に応じた予防策:

・ 国際連合危険物輸送勧告および国際協定:

国連番号: 1263

指針番号: 128

国連輸送名: 環境有害性物質(液体)

容器等級: III

国や自治体の規則に従うこと。

陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。

海上輸送 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 航空法の定めるところに従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法: 施行令別表 1-4 危険物 引火性の物

第 57 条 名称表示物質

第 57 条の2 通知対象物

船舶安全法 引火性液体類

16. その他情報

主な引用文献

SDS用化学物質データベース

一般社団法人 日本塗料工業会

SDS/ラベル作成ガイドブック(混合物用(塗料用))

一般社団法人 日本塗料工業会

GHS危険有害性分類結果(NITE)公表データ

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)

化学物質総合情報公表データ

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)

国際化学物質安全カード(ICSC)

GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

本データシートは、作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報など)を集めて作成しておりますが、すべての情報を網羅したものでなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、安全性及び品質を保証するものではありません。本製品のご使用に当たりましては、関係法規に従うと共に使用者において安全性の確認を十分に行ってください。